

施策名	目標9-2 環境アセスメント制度の適切な運用と改善						
施策の概要	環境に影響を及ぼすと認められる意思決定の各段階において環境影響評価制度等を通じ、環境保全上の適切な配慮を確保する。						
達成すべき目標	環境影響評価法に係る技術手法の向上を図りながら、環境影響評価に関する情報をインターネット等を活用して提供するなど、環境保全に対する適切な環境配慮を確保する。						
施策の予算額・執行額等	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	-	-	210	250	215
		補正予算(b)	-	-	0	0	
		繰り越し等(c)	-	-	0	0	
		合計(a+b+c)	-	-	210	250	215
執行額(百万円)	-	-	167				
施策に係る内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日			関係部分(抜粋)		

測定指標	1 環境影響評価法に基づく 手続の実施累積件数(途中から法に乗り換えたもので内数)[件]	基準 年度	施策の進捗状況(実績)					目標 年度
			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
			169(50)	177(50)	179(50)	188(50)	196(50)	
	年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	
	2 地方公共団体における上位計画等に係る環境影響評価に関する制度数[制度]	基準値 年度	年度ごとの目標値					目標値 年度
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
		4	5	5	5	5		
年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-		

目標の達成状況	<p>環境影響評価法に基づく手続を通じ適切な環境配慮が図られるとともに、地域における環境影響評価に係る体制の強化を進めた。また、平成22年3月に閣議決定された「環境影響評価法の一部を改正する法律」について国会において継続して審議を行った。</p> <p>また、平成22年2月に取りまとめられた中央環境審議会答申に基づき、風力発電所の設置事業等を法対象とすべく、検討を行った。</p>
施策に関する評価結果 目標期間終了時点の総括	<p>環境影響評価に関する情報をインターネット等を活用して提供する体制の整備、環境影響評価に係る技術手法の向上、改善のための検討を行うなどの進展があった。また、計画段階配慮手続や環境保全措置等の結果の報告手続を盛り込んだ「環境影響評価法の一部を改正する法律案」を国会で継続して審議した。</p> <p>今後は、改正法案の円滑な施行に向けた調査・検討が必要であり、より上位の計画や政策の検討段階を対象とした戦略的環境アセスメントの導入等についての検討が必要。また、最新の科学的知見を踏まえた環境影響評価の技術手法の開発・改良や、環境影響評価の実施に資する環境情報を提供するためのデータベース構築が必要。</p> <p>また、平成22年2月に取りまとめられた中央環境審議会答申に基づき、風力発電所の設置事業等を法対象とすべく、規模要件等の技術的事項について検討を行った。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	風力発電を対象事業に追加するため、基本的な考え方に関する検討会を平成22年10月より開催した。
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	法に基づく案件数 <a href="http://www.env.go.jp/policy/assess/3-3statistic/index.html">http://www.env.go.jp/policy/assess/3-3statistic/index.html</a>
---------------------------	---

担当部局名	環境影響評価課	作成責任者名	花岡 千草	政策評価実施時期	平成23年6月
-------	---------	--------	-------	----------	---------